



# ふくち基弘

## 県政だよりvol.62

### INDEX

- 1兆6200億円の新年度予算等が成立
- 中小企業の賃金改善支援策や国民健康保険の県単位化等について質疑
- 現役大学生をインターン生として受け入れ

<http://ameblo.jp/fukuchi-motohiro/>

連絡先 : ふくち基弘事務所  
 広島県広島市西区己斐上2-36-7  
 電話/FAX 082-271-5369 e-mail : fucci7@enjoy.ne.jp



# 1兆6200億円の新年度予算等が成立



2月定例会で委員長報告を行なうふくち基弘

2018年2月16日から3月14日までの日程で広島県議会2月定例会が開かれました。総額1兆6199億円の平成30年度当初予算等の審議を行ない、可決成立しました。ふくち基弘が所属する民主県政会からは桑木良典議員(三原市・世羅郡)が代表質問、的場豊議員(福山市)、瀧本実議員(広島市佐伯区)、内田務議員(福山市)、中原好治議員(広島市南区)一般質問を行いました。(質問の詳細については、広島県議会のホームページをご覧ください。)

## 2月定例会における主な質疑の内容

### 代表質問 桑木良典議員(三原市・世羅郡)

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>(質問)</b> 子供の貧困の解消に向けた決意と、今後の取り組みの方向性について伺う。</p> <p><b>(答弁)</b> 教育・生活・就労及び経済における世帯単位や親を対象とした支援に加え「学びのセーフティネット」の構築や子供に直接アプローチする施策に重点的に取り組む。将来を担う大切な「子供」に何よりも視点を置き、誰一人として置き去りにすることなく、全ての子供が夢を育むことのできる社会づくりに全力で取り組む。</p> <p><b>(質問)</b> 広島中央警察署内における現金盗難事件について、現在の捜査状況と事件解決に向けての見通しは。</p> <p><b>(答弁)</b> これまで数百人に及ぶ事情聴取や防犯カメラ画像の解析等の捜査において収集した聴取結果等について事件への関連性を精査し続けている。事件認知から9か月が経過しているが一日も早い解決に向けた捜査に全力を尽くす。</p> | <p><b>(質問)</b> 働き方改革に取り組んだ企業や従業員の方々からの評価はどうか、また今後どのように取り組むのか。</p> <p><b>(答弁)</b> 企業からも従業員からも評価する声があがっており、企業にも、働く人の意欲や暮らしの充実にも良い影響が生じていると感じている。今後、働き方改革に取り組む企業の裾野を拡大し、県民が仕事も暮らしもどちらもあきらめることなく働き続けることができる職場環境の実現を目指す。</p> <p><b>(質問)</b> 県立学校施設の長寿命化と教育環境の質的向上のために必要な改修をどのように進めていくのか。</p> <p><b>(答弁)</b> 長寿命化改修の進め方として、建物の機能や性能を引き上げることが肝要であり、建て替えた場合と概ね同等に児童・生徒が快適で安全・安心に過ごせるよう整備する。併せてICT環境の充実など教育環境の質的向上を図るための整備を一体的・効率的に進める。</p> |
|--|--|

### 的場豊議員(福山市)

- (質問)** 世界の指導者への広島訪問の要請状況と実現の見通しについて伺う。
- (答弁)** 昨年7月、北朝鮮を除く国連加盟国に対し広島訪問を要請する書簡を送付したほか、広島市と連携しG20関係閣僚会議の誘致を行なっている。今後とも、各界のリーダーの被爆地訪問を働きかけて参りたい。
- (質問)** 子供の貧困の連鎖の背景に存在する、保護者の所得格差を改善するための雇用政策について伺う。
- (答弁)** 子供の貧困の連鎖を断ち切るため、いつでも安心して子どもを預けられる保育環境の確保や、育児に柔軟に対応できる職場環境づくりなどにより、生活が困難な家庭の生活の安定に資する雇用政策を展開する。

### 瀧本実議員(広島市佐伯区)

- (質問)** 広島西飛行場跡地のスポーツ・レクリエーションゾーンについて、どのような検討がなされているのか。
- (答弁)** 多目的スポーツ広場を整備するとともに、将来的に野球場を整備することを想定し必要な敷地を確保した上で当面駐車場として整備する。来年度から広島市を整備主体とし、広場の設計に着手して参りたい。
- (質問)** 広島市の運転免許センターへの「親子室」の設置等、子育て中の人に優しい環境整備について伺う。
- (答弁)** 県運転免許センターではお子さんと一緒に講習会場に入室し受講していただいております。また授乳室を2か所設置している。今後、親子室の設置も含め、子育て中に利用される方への支援方策を検討して参りたい。

# 中小企業の賃金改善支援策や国民健康保険の県単位化等について質疑

## 内田務議員(福山市)

(質問) 中小企業の賃金改善は広島県を発展させる最も有効な手立てだと考えるが、その支援策について伺う。

(答弁) 本県では、賃金の伸びが消費につながってきていることから、この流れを継続・拡大していくため可能な企業から賃金引上げへの取組を経済団体へ要請した。今後とも、中小企業の収益力向上に向けた取組を効果的に実施することにより、賃金引上げや雇用拡大などの好循環につなげるよう支援していく。

(質問) 安全運転サポート車普及に向けた取組について伺う。

(答弁) 「安全運転サポート車普及啓発協議会」を設立し、より多くの方に安全運転サポート車の有用性や機能の正しい理解を周知していく。また購入時の支援については、今後関係機関等へ働きかけて参りたい。県警察として更なる普及啓発に積極的に取り組む。

## 中原好治議員(広島市南区)

(質問) 非正規労働者の正規化に向け、どのような策を講じ、どのような成果をあげているのか。

(答弁) 県は、正社員求人企業限定の合同就職面接会や職業相談、職業訓練などを実施している。また企業に対し、正社員転換のための低利融資制度などに取り組んでいる。結果、平成28年度473人が正規雇用に結びついた。今後、広島労働局との雇用対策協定に基づき、マッチング機会の拡充などに引き続き取り組む。

(質問) 国民健康保険の県単位化のメリットについて伺う。

(答弁) 市町ごとに保有する視覚情報等を集約し、「国保情報集約システム」で運用することなどにより、県民の利便性向上や経費節減に効果がある。また具体的な事務改善の目標を設定して進捗管理し、保険事務の効率化に努める。

# 現役大学生をインターン生として受け入れ

ふくち基弘事務所では、春夏の年2回、現役大学生をインターン生として受け入れています。インターンシップの一環として、2018年春のインターン生2名の活動を学生たち自身が作成した記事でご報告させていただきます。

## 議員インターンシップとは

私達は福知先生の下で現在議員インターンシップという活動をしています。

議員インターンシップとはNPO法人ドットジェイピーが運営しているインターンシップであり、約二ヶ月間議員の先生の下でさまざまな活動を行います。例えば議員の先生の朝の演説を手伝ったり、ポスター張りや支持者の方への訪問の随行、議会の傍聴、様々な施設の見学などができます。

このインターンによって政治の現場を見たりや普段会うことがないような様々な人と会うといった体験ができます。

参加に際して政治に関する知識は要りません。政治をさらに知りたい、知るきっかけにしたい、社会経験を積みたいなどどんなきっかけでも大丈夫です。

もし春休みや夏休みに普段の大学生活ではできない体験をしたいと思っている方は議員インターンシップに参加してみてください。



議場で記念撮影



知事室で湯崎知事と



県政だよりを配ったり湯崎知事にインタビューしました

## インターン生より

私は今まで政治に対して、自分とはどこか遠い場所にあるものだと感じていました。しかしインターンを通して、政治とは自分達の生活と密接に関わっているものであると分かりました。現在、若者の投票率の低下が社会問題となっています。政治に対して関心を持ち、選挙で投票することで自らの意思表示をし、政治に反映させることが大切であると再認識しました。残りのインターンの期間やその後の大学生活でも生活と政治のかかわりを意識するようにしたいです。